

# 「のあそび」を通じた荒尾駅前活性化事業

【団体名】一般社団法人のあそびlabo

## 地域の現状・課題（取組みの背景）

- 荒尾市への訪問客は、グリーンランド以外の観光地等に滞在する時間が短く、また、荒尾駅前をはじめとした市内各地への周遊を促すコンテンツも不足しており、まちの賑わいはグリーンランド周辺が中心になっています。
- 荒尾市の玄関口である荒尾駅前には、近年衰退が著しく、賑わい創出が課題となっていました。
- 荒尾駅前広場は、約200台の駐車場を併設した芝生エリアを有し、地域住民に限らず観光客とも交流が図れるという点でポテンシャルの高い資源ではありますが、有効に活用できていなかったため、「のあそび」を軸としたコンテンツの開発・普及を行うこととしました。

## 取組みの概要

- ◆のあそびマルシェの開催（荒尾駅前広場）
  - ・火おこし体験や木登り体験など「のあそび」を手軽に体験できるアウトドアコンテンツを提供。
  - ・荒尾市内外の飲食店に出店を依頼し、マルシェの開催。
- ◆のあそびツアーの実施（小岱山）
  - ・山歩きハイキングを行い、荒尾の身近な自然を体感するなど、アウトドア活動を実施。
- ◆のあそびの学校の実施（荒尾市内）
  - ・防災キャンププログラムの親子体験学習を実施。



木登り体験



のあそび運営スタッフ

## 取組みの成果・現在の取組み状況

- 交流人口の拡大
  - ・「のあそびマルシェ」には、荒尾市内外から約1,000人が来場されました。
- 地域資源の再発見
  - ・小岱山での「のあそびツアー」には、ツアー会社が見学参加し、その後4回のガイドハイキングを実施することに繋がりました。
- 本事業の持続的運営を目標に、「のあそびマルシェサポーター」制度を拡充し、荒尾市内外からのボランティア参加に加え、運営を支援する事業者や協賛者を増やすための取組みを進めており、より充実した「のあそびマルシェ」を開催していく予定です。
- また、荒尾駅前の空き店舗をリノベーションを公開ワークショップ形式で開催し、利活用を促進しながら駅前の賑わい創出計画など関係機関と連携を図りながら、のあそびlaboの活動を継続・拡大していく予定です。



のあそびマルシェの様子



のあそびマルシェの様子



のあそびの学校での炊飯体験